

第 29 回 篠原記念賞（2 件）および同奨励賞（3 件）

（目的）故篠原隆政氏の業績を記念し、給排水衛生設備に関する技術の研究、開発または普及に、特に優れた業績を挙げた会員に対し、篠原記念賞を贈って表彰するものである。

また、給排水衛生分野を専攻し、将来の活動が期待できる博士修了学生あるいは修士修了学生、または社会人として現在同分野で活動し、今後もさらなる活躍が期待できる会員に対し、篠原記念賞奨励賞を贈って表彰するものである。

篠原記念賞

受賞者	中村 勉（須賀工業(株)）
推薦理由	<p>中村 勉君は、給排水及び空調設備の騒音に関わる予測と対策の研究を皮切りに、新たな給排水システムの開発や資機材の劣化発生要因の解析など、所属している設備設計・施工会社での実務経験を通して数多くの知見を明らかにしている。特に、水道水中での合成ゴムの劣化に関わるメカニズムの解明を行い、耐塩素性能を向上させた合成ゴムの配合を発明するなど、建築設備全般の技術発展に寄与し、公開された特許等は、給排水衛生分野に広く活用されているところである。</p> <p>また、学会での主な活動として、理事、代議員、及び給排水衛生設備委員会の管路系騒音低減設計小委員会など、数多くの小委員会で幹事や委員として活動し、学会規格やガイドラインの作成などにより、功績賞をこれまで7回受賞されている。さらに数多くの大会発表のほか、学会誌への投稿、学会出版図書の編集・執筆、関連する他の学協会への発表・投稿も数多く、給排水衛生設備分野での技術情報発信に努められている。現在もこれらの活動を継続されており、給排水衛生・水環境分野の今後の技術の発展に関して、ますますの活躍が期待される。</p> <p>よって、その功績は篠原記念賞に値するものと認める。</p>

篠原記念賞

受賞者	前田 信治 ((有) 前田衛生興業)
推薦理由	<p>前田 信治君は、学生時代に第1執筆者として発表した論文で学会賞論文賞を受賞され、その後も排水処理、排水再利用や雨水利用等の研究や業務について宮城県下で活動されている。当該分野の豊富な技術力を基に、大会の発表や学会誌を通じて当学会会員への技術ノウハウの提供に励み、技術力向上に寄与しているところである。</p> <p>主な学会での活動として、給排水衛生設備委員会雑用水設備小委員会、及び建物における雨水対策検討小委員会においては幹事、委員として活動し、昨年度末には雑用水設備小委員会報告書「雑用水の設備及び維持管理に関する研究」を幹事として取りまとめた。</p> <p>さらに、東北支部の研究委員会でも中心的な役割を担っており、現在も継続して活動を行っている。具体的には、凍結防止小委員会において、給排水衛生設備と空調設備の凍結対策を提案し、建築設備における震災等防災対策調査委員会では、給排水設備の災害対策、災害時のトイレのあり方等について提案し、この内容を学会誌の特集号として報告するなど、その知見が給排水衛生分野に広く活用されていると認められるところである。今後も本部・支部を含め給排水衛生・水環境分野の技術の発展に関して、益々の活躍が期待される。</p> <p>よって、その功績は篠原記念賞に値するものと認める。</p>

篠原記念賞奨励賞

受賞者 主な業績	佐藤 奨悟 (関東学院大学大学院) 修士論文「節水型トイレユニットと簡易横枝通気を併用した中規模オフィスビル対応の排水システムの提案とその可能性」
受賞者 主な業績	赤坂 昌哉 (工学院大学大学院) 修士論文「事務所建物の給水原単位と雨水利用に関する研究 - 建物の使用状況と給水原単位の関係および雨水利用による豪雨の流出抑制に関する考察 -」
受賞者 主な業績	大場 涼太 (関東学院大学大学院) 修士論文「ALC 鉄骨造の低層住宅における排水システムの排水性能評価と設計手法に関する研究」